

## 令和5年 新年の挨拶

組合長 松浦 満晴

### 新年の年頭に当たり、謹んでお慶びを申し上げます。

洋上において新しい年を迎えられた組合員の皆さま、久しぶりにご家族と一緒に新年を迎えられた組合員の皆さま、あけましておめでとうございます。

#### 産業別労働組合として海上労働運動の灯を絶やすことなく、一致団結・まい進

はじめに、いまだコロナ禍が収束しない状況の中、昨年を振り返りますと、国外では冬季オリンピック終了直後、ウクライナにロシアが軍事侵攻し、現在も多くの人が犠牲となっています。また、国内では春先に北海道・知床半島沖で観光船が沈没し、乗客と乗組員全員が死亡・行方不明になるという痛ましい事故が発生しました。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表し、心よりお見舞い申し上げます。

われわれを取り巻く社会背景は、長引くコロナ禍の国際的景気低迷から、回復基調にあったものの、ロシアのウクライナ侵攻により、世界のエネルギー供給バランスや、穀物など食糧の安定供給が崩れ、世界的な物価上昇を惹起し、国際経済の混乱を招きました。

わが国でも、急激な円安から輸入品価格が上昇し、燃料油価格の高止まりや輸送費の高騰、光熱費や食料品など生活に結び付く費用負担の増加が、生活を圧迫する形となり、ひいては将来不安を増長しています。

このような先行き不透明感の強い中、本組合は昨年11月に第83回定期全国大会を、千葉市の幕張メッセで開催しました。同大会は、新型コロナウイルス感染防止策を万全に講じたうえで、代議員が一堂に会し、2日間という限られた時間ではありましたが、この困難な時代の現場組合員の雇用と生活を守り抜きたいという、熱意あふれる代議員との活発な討議により、第78年度活動方針を決定することができました。

現場組合員の思い、負託に応えるべく、決定した活動方針の具現化に向け、組合長の私先頭に立ち、執行部と職場委員、現場組合員と一致団結し、執行活動にまい進していく所存であります。

また、わが国は少子高齢化が深度化し、特に船員職業の後継者不足は著しく、日本人船員の後継者確保・育成は急務となっています。国の経済を支える海上物流の根幹を担う船員の確保・育成は、一義的には国の責任ですが、船員不在の海上物流の停滞を防ぐために、また、日本の経済活動と国民生活を破綻させないためにも、日本人船員の確保・育成について、諸施策の早期実施を国や関係機関に対し強く求めていかなければなりません。昨年

の2月2日には、国会議事堂・参議院で開催された「国際経済・外交に関する調査会」に参考人として出席し、船員育成の重要性を述べたところです。これからも船員職業の重要性を国民の皆さまに広く、深く認識していただきたいと思います。

海員不戦の誓い・国際協力に基づく平和な海、海難事故の撲滅、船員不足など課題は山積していますが、一人ひとりが全日本海員組合の旗の下に結集しているのだという気持ちを強く持ち、皆さまと手を携え海上労働運動、また産業別労働運動にまい進してまいります。

最後になりますが、今年1年、皆さまのご健康と、各船のご安航を祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

「海員だより」

---

**－広報室より－ <各船の海員だよりメール版の送信状態を確認します>**

洋上で安全運航・安全操業の努めている組合員の皆さま、お疲れ様です。海員だよりメール版を受信していただき、ありがとうございます。

海員だよりメール版は、海員組合本部の広報室メールアドレス（kaiin@jsu.or.jp）から送信しています。

正常に届いていることを確認するために、各船へお届けしたメール便りに返信していただく作業をお願いしています。

**お手数ですが、毎月1度、受信メールに返信をお願いします。**

※毎月、1日から月末までの間に1度、送信されました海員だよりに「返信」していただければ、船舶のメールアドレスの変更の有無などを確認できますので、よろしく願いいたします。